

令和4年度 事業報告書

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

公益財団法人中東調査会
東京都千代田区平河町1-1-1平河町コート6階
電話 03-6261-4554

令和4年度事業報告書

1 法人の概況

- 1 設立年月日 昭和35年（1960年）10月3日 [創立：昭和31年（1956年）2月]
平成24年（2012年）4月1日公益財団法人へ移行

2 定款に定める目的

当調査会は、中東地域（北アフリカを含む）の安定した発展なくして国際政治経済環境の十全を期し得ない状況の下、エネルギー面でとりわけ脆弱な我が国の平和と繁栄、即ち国益にとり、この地域の国々との円滑な友好協力関係が死活的な重要性を有していることについて国民の理解を深めるため、専門家の育成、内外研究機関及び企業との交流をふまえ、地域研究、地域関連情報の収集、専門的・実務的知見のできる限り広範な伝播、これに基づく適切な与論形成に努力し、もって我が国の平和と繁栄に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業

- (1) 中東地域及び域内諸国等及びこれらと深く関係する地域及び諸国等の政治、経済、社会、文化等についての研究及び調査
(2) 前号に規定する研究及び調査に基づく資料の刊行
(3) 現地事情紹介のための会議、講演会、セミナー、シンポジウム等、我が国における中東についての理解の増進及び知識の普及を図る啓発事業の実施及び実施協力
(4) その他当調査会の目的を達するために必要な事業

4 所管管庁に関する事項 内閣府

5 賛助会員の状況 (令和5年3月31日現在)

種類	当期末	前期末	前期末比増減	備考
法人会員	105 法人	102 法人	3 法人	
個人会員	216 人	222 人	△ 6 人	
(個人会員内訳)	特別個人会員：12人 普通個人会員：204人	特別個人会員：10人 普通個人会員：212人	特別個人会員：△1人 普通個人会員：△3人	

6 事務所

東京都新宿区西新宿7丁目3番1号 三光パークビル5階

7 役員等に関する事項 (令和4年3月31日現在)

- (1) 理事、監事等 理事、監事等の常勤・非常勤の別：全員が無給・非常勤である（役員順：就任順）

役職	氏名	現職
会長	佐々木 幹夫	三菱商事(株) 元会長
理事長	齋木 昭隆	三菱商事(株) 取締役、元外務事務次官（国家公務員出身者）
副理事長	浅子 清	元駐バハレーン大使（国家公務員出身者）
常任理事	山内 昌之	東京大学名誉教授
常任理事	細野 哲弘	(独)エネルギー・金属鉱物資源機構 理事長、元資源エネルギー庁長官（国家公務員出身者）
監事	藤崎 一郎	公益財団法人 中曽根康弘世界平和研究所（NPI）理事長、元駐米大使（国家公務員出身者）
監事	越 和夫	(株)三菱東京UFJ銀行 顧問

代表理事：佐々木幹夫、齋木昭隆（2人）、業務執行理事：浅子清（1人）、理事：山内昌之、細野哲弘（2人）、監事：藤崎一郎、越和夫（2人）

(2) 顧問 (50音順)

役職	氏名	現職
特別顧問	有馬 龍夫	元日本国政府代表・元中東和平担当特使、元駐ドイツ大使（国家公務員出身者）
顧問	伊藤 仁	(株)日立製作所 執行役常務
顧問	木村 康	ENEOSホールディングス(株) 特別理事
顧問	佐々木 伸彦	独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 理事長
顧問	榎田 雅和	千代田化工建設(株) 代表取締役会長兼社長
顧問	高原 一郎	丸紅(株) 副会長
顧問	竹村 章敏	トヨタ自動車(株) 本部長
顧問	月岡 隆	出光興産(株) 特別顧問
顧問	中村 邦晴	住友商事(株) 取締役会長
顧問	成瀬 正治	(株)ホテルオークラ東京 代表取締役会長
顧問	西 克司	アブダビ石油(株) 代表取締役社長
顧問		コスモエネルギー開発(株) 代表取締役社長 社長執行役員
顧問	萩原 剛	サウディ石油化学(株) 代表取締役社長
顧問	服部 真二	セイコーホールディングス(株) 代表取締役会長兼グループCEO兼グループCCO
顧問	林 欣吾	中部電力(株) 代表取締役社長
顧問	平井 康光	三菱商事(株) 代表取締役 常務執行役員
顧問	藤原 弘達	三井物産(株) 顧問
顧問	宮家 邦彦	(株)外交政策研究所 代表
顧問	山田 哲也	伊藤忠商事(株) エネルギー部門長

以上18名

(3) 参与 (50音順)

役職	氏名	現職
参与	浦部 和好	元内閣官房副長官補(元駐エジプト大使、元外務省官房長)、元中東調査会評議員
参与	大野 元裕	埼玉県知事(元中東調査会客員研究員)
参与	恩田 宗	元駐サウジアラビア大使(一般社団法人総合研究フォーラム顧問)
参与	鏡 武	元駐シリア大使、元中東調査会副会長
参与	加藤 博	一橋大学名誉教授
参与	黒川 剛	元駐クウェイト大使
参与	小杉 泰	アジア日本研究所所長
参与	塩尻 宏	元駐リビア大使、元中東調査会副理事長
参与	内藤 正典	同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授
参与	八尾師 誠	東京外国語大学名誉教授
参与	目黒 孝敏	元駐バハレーン大使
参与	守村 卓	元三菱UFJ銀行副頭取、前中東調査会監事

以上12名

(参考) 【定款第29条】

1. 理事 3名以上10名以内、 監事 1名以上2名以内

【定款第33条】

1. 代表理事2名のうち1名を会長、他の代表理事を理事長に選任する。

2. 3名以内の業務執行理事のうち1名を副理事長とすることができる。理事のうち1名を副会長、若干名を常任理事とすることができる。

【定款第41条】

1. 当調査会に、名誉顧問若干名、顧問40名以内及び参与30名以内を置くことができる。

2. 名誉顧問、顧問及び参与は、理事会の承認を得た上で理事長が委嘱し、直近の評議員会に報告するものとする。名誉顧問、顧問及び参与の資格、任期、解任については、理事会が定める。

3. 名誉顧問、顧問及び参与は無報酬とする。ただし、その職務を行うために要する費用を支払うことができる。

(4) 評議員 評議員の常勤・非常勤の別：全員が無給・非常勤である (50音順)

	氏名	現職
評議員	須藤 隆也	公益財団法人日本国際問題研究所 軍縮・不拡散促進センターアドバイザー、元駐エジプト大使(国家公務員出身者)
評議員	関場 誓子	聖心女子大学名誉教授
評議員	高島 肇久	一般社団法人日米協会 顧問
評議員	渡辺 喜宏	一般社団法人 日本百賢アジア研究院理事長、学校法人A I C J 鷗州学園理事長、公益財団法人 アジア学生文化協会評議員

以上、4人

(参考) 【定款第14条】

評議員 3名以上10名以内

8 職員に関する事項 (令和3年3月31日現在)

	職員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢	平均勤続年数	備考
男子	3	0	40.7 歳	3.5年	
女子	4	0	48.0 歳	12.5年	
合計 又は平均	7	0	44.4 歳	8年	

II 事業の状況

1 事業の実施状況

別紙「事業の実施状況」参照

2 役員会に関する事項

名称	開催年月日	決議事項等
第1回臨時理事会	令和4年5月2日	顧問の辞任及び後任顧問の選任
定時理事会	令和4年6月8日	令和3年度事業報告 令和3年度決算報告 理事の改選 監事の辞任に伴う監事の補充選任に関し、評議員会へ監事候補者名簿を提出する件 顧問の交代 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等
定時評議員会	令和4年6月23日	令和3年度事業報告及び決算書類 理事の選任 監事の辞任に伴う監事の補充選任
第2回臨時理事会	令和4年6月23日	代表理事、業務執行理事の互選、役付理事の互選
第3回臨時理事会	令和4年12月13日	令和4年度第1回臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項
第4回臨時理事会	令和4年12月22日	令和5年度事業計画書 令和5年度収支予算書 事務局規定の一部改訂 受託規程の一部改訂
第1回臨時評議員会	令和4年12月22日	令和5年度事業計画書 令和5年度収支予算書
第5回臨時理事会	令和5年3月6日	顧問の辞任及び後任顧問の選任
第6回臨時理事会	令和5年3月6日	団体役員賠償責任保険(D&O保険) 契約締結承認に関する件

3 正味財産の状況並びに財産の状況の推移

単位：円

	前々期 令和3年3月期	前期 令和4年3月期	当期 令和4年3月期	備考
資産合計	71,939,320	77,501,372	77,961,805	
負債合計	11,357,119	16,802,850	17,072,338	
正味財産	60,582,201	60,698,522	60,889,467	

平成21年度から、「新々公益法人会計基準」（内閣府公益認定等委員会が平成20年4月11日に公表した『公益法人会計基準』の運用指針）を採用している。

Ⅲ 法人の課題

当法人の対処すべき課題

(1) 公益財団法人としての運営方針

当調査会は、平成24年4月1日付にて公益財団法人へ移行した。公益財団法人としての責務を果し、持続性を確保するために、当調査会への社会的需要に応えつつ、財政基盤を確固たるものとするのが、継続的な課題になる。当調査会はこの課題に対処すべく、調査研究・会員サービス・一般向けの情報発信という事業活動の一層の充実に取り組みたい。また近年の中東における不安定化や治安の悪化を背景に、邦人及び邦人企業の安全を強化するため、政府の対応にも協力しつつ、調査・分析を強化する。

(2) 質の高い事業の推進

当調査会が充実した活動を行うためには、官公庁、企業、研究教育機関、および社会全体の中でその存在感を高めなくてはならない。そのためには、より質の高い広報活動の推進が求められる。また当調査会のこれまでの研究調査を踏まえ、法人会員・個人会員の関心に応えていくとともに、一般の人やメディアのニーズに的確に対応する情報発信を行う。従来の出版物、電子メール、ホームページの充実に加え、SNS（Facebook、Twitter）の新しい発信手段を活用することで、情報発信・広報体制の強化を図る。同時に、そのための基盤として調査・研究活動の体制を効率化し知的生産活動を拡充する。

(3) 活動基盤の充実

当調査会が今後一層の質の高い事業展開を行っていくためには、その活動の財政的基盤を強化することが不可欠である。賛助会員の拡大、受託研究調査事業の開拓をはじめ会員および潜在的顧客層の関心の高いセミナー、フォーラムの開催、中東に関する研究への支援のさらなる拡大を図る。

以上

別紙：「事業の実施状況」

【公益目的事業その1】 中東に関する研究・調査事業

ア 政治・経済・社会・文化等についての研究および調査 (中東資料センター)

中東の動向についての情報を現地の異なる政治的立場に立つメディア（新聞、テレビ、インターネット・サイト）、欧米の紙誌・通信社、日本の報道機関等を通じてより網羅的に収集した。

1. 「日誌データベース」の更新

「日誌データベース」（中東地域の国別主要動向）をはじめとする中東各国に関する情報を幅広く収集・整理したデータベースの更新を行った。令和4年度入力データ数は9,524件（令和4年度末のデータ総数は平成5年以降、23万9,822件）。

令和4年の各国動向は『別冊・中東研究：中東各国動向（2022）』の刊行にあたって活用した。

2. 「中東要人データベース」の更新

中東諸国の政治家を中心とした要人動向を整理し、昭和50年代末からデータベース化している。令和4年度末までにデータを収集した要人総数は2万5,864人。

3. 中東諸国外交官等からの情報収集

外務省等の関係省庁・機関や在京の中東諸国大使館の外交官、中東に係るビジネスマンらから情報を収集した。その一環として、来日した外国諸機関関係者、政治家、研究者らとの会合を行い、中東情勢に関する情報収集・分析に努めた。また海外からの訪問者に対して日本の立場や政策について説明した。

(1) 令和4年7月6日（水）13:00-14:30 於）中東調査会

イド・ブロムベルグ（在京イスラエル大使館参事官）、菅生素子（在京イスラエル大使館政治部アシスタント）

金谷 美紗（中東調査会上席研究員）

(2) 令和4年9月12日（月） 於）在京バハレーン大使公邸

シャイフ・アブドゥラー（バハレーン外務事務次官）、アハメッド・ムハマド・ユースフ・アルドーセリ（在京バハレーン大使）、その他在京バハレーン大使館より1名

浅子 清（中東調査会副理事長）、金谷 美紗（中東調査会上席研究員）、高尾 賢一郎（中東調査会研究員）、青木 健太（中東調査会研究員）

(3) 令和4年9月28日（水）14:00-15:00 於）中東調査会

ウフク・ウルタシュ（トルコ外務省戦略研究所所長）、メスット・オズジャン（トルコ外務省戦略研究所外交アカデミー所長）、その他在京トルコ大使館より1名

齋木 昭隆（中東調査会理事長）、金子 真夕（中東調査会事務局長兼研究員）

(4) 令和4年10月19日（水）10:45-12:00 於）中東調査会

アブダッラー・アブ・ダルダリー（国連開発計画アフガニスタン常駐代表）、その他国連開発計画より3名

浅子 清（中東調査会副理事長）、金子 真夕（中東調査会事務局長兼研究員）、金谷 美紗（中東調査会上席研究員）、高尾 賢一郎（中東調査会研究員）、青木 健太（中東調査会研究員）、高橋 雅英（中東調査会研究員）

- (5) 令和4年11月10日(木) 11:00-12:00 於) 中東調査会
 セイエド・アリー・アラウィー(英ロンドン大学東洋アフリカ研究学院講師)、中西 久枝(同志社大学教授)
 金子 真夕(中東調査会事務局長兼研究員)、金谷 美紗(中東調査会上席研究員)、青木 健太(中東調査会研究員)
- (6) 令和4年12月9日(金) 10:00-11:00 於) 中東調査会
 ジャガナート・パンダ(スウェーデン安全保障政策研究所ストックホルム南アジア・インド太平洋センター長)、笠井 亮平(岐阜女子大学南アジア研究センター特別客員准教授)
 金子 真夕(中東調査会事務局長兼研究員)、金谷 美紗(中東調査会上席研究員)、高尾 賢一郎(中東調査会研究員)、青木 健太(中東調査会研究員)、高橋 雅英(中東調査会研究員)
- (7) 令和5年2月2日(木) 14:00-15:15 於) 中東調査会
 ハニー・アリー・アサル(エジプト・アフラム紙外交部長)、加藤 恵美(外務省中東第一課課長補佐)、
 浅子 清(中東調査会副理事長)、金子 真夕(中東調査会事務局長兼主任研究員)、金谷 美紗(中東調査会上席研究員)、青木 健太(中東調査会主任研究員)
- (8) 令和5年2月27日(月) 10:30-11:30 於) 中東調査会
 シハブ・アルファヒーム(駐日UAE大使)他1名
 齋木 昭隆(中東調査会理事長)、金子 真夕(中東調査会事務局長兼主任研究員)、高尾 賢一郎(中東調査会主任研究員)
- (9) 令和5年3月2日(木) 13:30-14:30 於) 中東調査会
 ムハンマド・ソリマン(米中東研究所戦略的テクノロジー及びサイバー・セキュリティ・プログラム・ディレクター)
 金谷 美紗(中東調査会上席研究員)、青木 健太(中東調査会主任研究員)
- (10) 令和5年3月13日(月) 11:00-12:00 於) 三菱商事㈱
 モハメド・アバクル(駐日エジプト大使)他2名
 佐々木 幹夫(中東調査会会長)、齋木 昭隆(中東調査会理事長)、金子 真夕(中東調査会事務局長兼主任研究員)、金谷 美紗(中東調査会上席研究員)
- (11) 令和5年3月16日(木) 11:00-12:00 於) 中東調査会
 サーミ・アルザマーナーン(駐日クウェイト大使)他1名
 浅子 清(中東調査会副理事長)、高尾 賢一郎(中東調査会主任研究員)

4. 関係研究機関との連携

当調査会研究員は、国際協力機構(JICA)、JETRO アジア経済研究所、石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)中東委員会、中東協力センター「北アフリカの電力分野における脱炭素化に向けたビジネス機会可能性調査」、日本国際交流センター、日本国際フォーラム、科学研究費助成事業基盤A「ハイブリッド戦争時代における新たな安全保障学の構築—中東ユーラシア地域の事例から」、科学研究費助成事業基盤A「非アラブにおける穏健イスラームの研究—インドネシア・パキスタン・トルコの事例から」、科学研究費助成事業基盤B「世俗化と風紀に関する宗教・地域間比較：一神教社会を中心に」、科学研究費助成事業基盤B「中東の非国家武装主体の越境的活動に関する比較研究」、科学研究費助成事業基盤C「紛争後のハイブリッドな国家建設の妥当性に関する実証研究：アフガニスタンを事例に」、東京外国語大学AA研共同利用・共同研究課題「現代ムスリム知識人の変容と交流」、サントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」プロジェクト「イスラームと酒：シャリーア・国家・伝統文化の緊張関係を読み解く」、武蔵野大学国際総合研究所「中東・中央アジア構造変動研究会」などの研究・調査事業への参加やブリーフィング等を通して、国内外研究機関との連携の強化と研究内容の向上に努めた。

イ 受託調査

政府、民間より研究・調査プロジェクトの委託を受け実施している。調査結果は、委託者の意向により、そのままの形で公表できないものもあるが、調査の過程で得られた知見や人脈は当調査会の講演会や刊行物で活用した。

1. 情報収集・分析業務
「テロ組織及びテロリスト情報の収集・分析業務」（委託者：外務省）
「イラン及びイラク等湾岸情勢調査・分析ユニット」（委託者：外務省）
「ウクライナ、諸外国及び国際機関等のウクライナ復興支援に関する実態調査」のトルコ・ウクライナ関係に関するヒアリング（委託者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング）
2. 横浜市立大学「令和4年度エクステンション講座」への講師派遣
テーマ：現代の中東・北アフリカ・南西アジアを理解しよう～混迷する現状と今後の展望～
於）横浜市立大学 金沢八景キャンパス

第1回 令和4年10月17日（月）
講師：青木 健太（研究員）
演題：「アフガニстанは今どうなっているのか」

第2回 令和4年10月20日（木）
講師：金谷 美紗（上席研究員）
演題：「アラブの春」以降の東地中海諸国」

第3回 令和4年10月24日（月）
講師：高尾 賢一郎（研究員）
演題：「アラビア半島（湾岸諸国）とイスラーム」

第4回 令和4年10月27日（木）
講師：高橋 雅英（研究員）
演題：「リビア紛争の行方」

第5回 令和4年10月31日（月）
講師：金子 真夕（事務局長・研究員）
演題：「トルコ共和国とエルドアン政権」
3. 横浜市立大学 教室セミナー「イスラーム地域史 A／アジア近現代史」への講師派遣
（Zoomでの遠隔授業）
第1回 令和4年12月16日
講師：高尾 賢一郎（研究員）
演題：「アラビア半島とイスラーム主義」

第2回 令和5年1月6日
講師：青木 健太（主任研究員）
演題：「アフガニстанは今どうなっているのか」
4. 横浜市立大学 ジェンダー研究会＋都市社会文化研究科特別セミナーへの講師派遣
（Zoomでの遠隔授業）
令和5年3月28日
講師：青木 健太（主任研究員）

演題：「ターリバーン政権下のアフガニスタンと女性をとりまく状況」

講師：金子 真夕（事務局長・研究員）

演題：「大地震がトルコに与えたインパクトー内外政の視点から」

講師：金谷 美紗（上席研究員）

演題：「地震後のシリア情勢と地域国際関係の変化」

4. 日本サウジアラビア協会主催ウェビナーへの講師派遣

令和5年3月22日（水）

講師：高尾 賢一郎（中東調査会主任研究員）

演題「サウジアラビアは「何」化しているのか～ムスリム社会が迎える「変革」を読み解く～」

ウ メディアを通じての中東情勢解説

政治情勢、治安情勢や、中東諸国からの要人来訪などの機会に、報道機関や様々な情報発信媒体からの照会を受けた。アフガニスタン政変から半年（令和4年2月）、サウジアラビアの観光政策（6月）、トルコ・NATO関係（6月）、アフガニスタン南東部地震（6月）、イラン・ロシアの接近（7月）、アフガニスタン政変から1年（8月）、イラン抗議デモ（10月、12月、令和5年2月）、トルコ・シリア大震災（3月）、イラン女学生に対する毒ガス攻撃（3月）などについて、主要なテレビ、新聞、ラジオなどで解説した。

また、各々の専門分野に関して新聞・雑誌等に執筆を行った。寄稿先は、岩波書店、ウェッジ、シノドス、フォーサイト、婦人公論（オンライン）、プレジデントオンライン、ミネルヴァ書房、MUFU BizBuddy など。

エ 一般からの照会に対する回答

中東諸国の政治・社会情勢などについて一般からの電話等による照会に対応して背景説明や解説をすると同時に、中東調査会のホームページ（<http://www.meij.or.jp/>）で諸情勢の経緯や背景など詳細に情報を発信した。

令和4年度のサイト訪問者数は9万1,489人（令和3年度は9万4,363人）、ページ閲覧数は30万3,501回（令和3年度は31万9,078回）だった。

中東の知識普及のため、大阪産業大学、お茶の水女子大学、目黒シルバー大学、明治大学、広島市立大学で講義・講演を行った。

また非常勤講師として亜細亜大学、大阪産業大学、学習院女子大学、津田塾大学、東京外国語大学、放送大学、筑波大学で教鞭を執った。

【公益目的事業その2】 出版事業

ア 『中東研究』

昭和 33 年に創刊された中東に関する研究論文、時事解説、資料等を掲載している中東総合専門誌（5 月、9 月、1 月に発刊している）。

第 544 号（2022 年度 Vol. I）（700 部発行）（令和 4 年 5 月刊行）

【大使の見たままに】

ナイルとスエズを軸とした三つの時間／能化 正樹

日本とクウェート——Friends in need are friends indeed／高岡 正人

【特集：中東と域外大国】

アフガニスタン・中国関係の変遷と展望——ターリバーン台頭後の地域情勢への影響／青木 健太

GCC 情勢における域外諸国の存在——2021 年が「良い年」だったのかを振り返りつつ／高尾 賢一郎

シリアと大国——繰り返される「シリアを巡る闘い」／高岡 豊

アルジェリアの対ロシア・対フランス関係——ウクライナ危機でのエネルギー供給国の役割／高橋 雅英

トルコとロシア——「敵対的友好」という特異な関係／金子 真夕

エジプトとアメリカの戦略的関係——軍事援助と民主化支援／金谷 美紗

【最近の動向】

スーダン共和国における 10 月 25 日のクーデタを巡って——アブドゥッラー・ハムドゥークの苦闘／飛内 悠子
ライスィー政権の課題——政権の特徴と今後の展望／近藤 百世

【書評】

青山 弘之 著『膠着するシリア——トランプ政権は何をもたらしたか』／渡部 恒雄

高尾 賢一郎 著『サウジアラビア——「イスラーム世界の盟主」の正体』／脇 祐三

第 545 号（2022 年度 Vol. II）（700 部発行）（令和 4 年 9 月刊行）

【大使の見たままに】

日本とモロッコ——遠いが近い日の出づる国と日の沈む国／篠塚 隆

【特集：AKP 政権 20 年目を迎えるトルコ内外政の課題】

公正発展党（AKP）政権の 20 年——指導者エルドアンがトルコにもたらした功罪／金子 真夕

エルドアン経済学の実践／間 寧

トルコの西洋化の現在地——公正発展党政権期の米国および EU との関係／今井 宏平

トルコのシリア侵略の「尖兵」としてのクルド民族主義組織 PYD／青山 弘之

東地中海のガス開発協力とトルコの関係改善外交——エジプトとイスラエルを中心に／金谷 美紗

カタール外交とトルコ——「同胞団外交」の終局とその後／高尾 賢一郎

【最近の動向】

レバノン第 20 期国民議会選挙と「二大政党体制」の動揺／末近 浩太

「シーア派割れ」と変わらない政治構造——第 5 回イラク議会選挙後の新政権形成をめぐる闘争／山尾 大
アンサールッラー（フーシー派）とイエメン戦争の軍事的評価／溝渕 正季

【書評】

今井 宏平 著『クルド問題——非国家主体の可能性と限界』／勝又 郁子
齊藤 貢 著『イランは脅威か——ホルムズ海峡の大国と日本外交』／青木 健太
青木 健太 著『タリバン台頭——混迷のアフガニスタン現代史』／登利谷 正人

第 546 号 (2022 年度 Vol. III) (700 部発行) (令和 5 年 1 月刊行)

【大使の見たままに】

最近のパレスチナ情勢／馬越 正之
近年のイラク情勢——カーズィミー政権期の動き／鈴木 光太郎

【特集：ロシアと中東】

制裁下のロシア——「新たな現実」と中東へのアプローチ／長谷 直哉
イラン・ロシア関係の展開——イランの「ルック・イースト」政策に着目して／青木 健太
ウクライナ戦争がトルコに与える影響——トルコにもたらす好機と危機／金子 真夕
GCCにおける「ロシアの帰還」——サウジアラビアの対ロシア外交の背景と展開／高尾 賢一郎
ロシアの民間軍事会社「ワグネル」の中東・アフリカ進出——フランスとロシアの協調・競合関係／高橋 雅英
シリアにおけるイスラエルとロシアの暗黙の協力——ウクライナ戦争の影響を中心に／金谷 美紗

【最近の動向】

大統領・議会選挙延期後のリビア情勢——「リビア・トラップ」からの脱却に向けた課題／小林 周
アフガニスタンにおけるターリバーン統治の現状——独自の政治体制と顕在化する諸課題／青木 健太

【書評】

青山 弘之 著『ロシアとシリア——ウクライナ侵攻の論理』／鈴木 啓之

『別冊・中東研究データ編』

平成 22 年度より、これまでのデータ編（紙媒体）を『別冊・中東研究』としてデジタル媒体で
発刊している。

『別冊・中東研究：中東各国動向（2022）』（CD-ROM）（令和 5 年 3 月刊行）

2022 年かわら版編

<湾岸・アラビア半島地域>

アラブ首長国連邦（UAE）、イエメン、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェイト、サウジアラビア、
バハレーン、GCC

<東地中海地域>

イスラエル、シリア、トルコ、パレスチナ、ヨルダン、レバノン

<北アフリカ地域>

アルジェリア、エジプト、チュニジア、モロッコ、リビア

<その他>

アフガニスタン、イスラーム過激派

2022 年日誌データ編

<湾岸・アラビア半島地域>

アラブ首長国連邦 (UAE)、イエメン、イラク、イラン、オマーン、カタル、クウェイト、サウジアラビア、バハレーン

<東地中海地域>

イスラエル、シリア、トルコ、パレスチナ、ヨルダン、レバノン

<北アフリカ地域>

アルジェリア、エジプト、チュニジア、モロッコ、リビア

<その他>

アフガニスタン

特別書き下ろし：「2022 年のイスラーム過激派の動向——最近の衰退傾向と今後の脅威について」
はじめに、イスラーム過激派の最近の衰退傾向をどのように理解するか、シリア、イラク、イエメン、エジプト、アルジェリア・チュニジア・リビア、ソマリア、マリ、ナイジェリア、モザンビーク、アフガニスタン

イ ニューズレター

中東各国に関する時事問題や分析記事を、ニュースレター「中東かわら版」として発行した。発行される各号を当調査会 HP に掲載して公開し、一般向けの中東に関する情報配信に努めた。令和 4 年度発行総数は 164 号（令和 3 年度発行総数は 137 号）。なお、イスラーム過激派についての情報発信は、平成 30 年度から会員サービス向上のため、会員専用の「イスラーム過激派モニター」を中心とする発信形式に改めた。

国別の代表的な記事（令和 4 年 4 月 1 日－令和 5 年 3 月 31 日）

★アフガニスタン

- ・令和 4 年 7 月 4 日 ウラマー大会議が 3 日間開催、11 項目の宣言書を採択
- ・令和 4 年 8 月 5 日 ザワーヒリー AQ 指導者の死亡に対するターリバーンの反応
- ・令和 5 年 1 月 24 日 ターリバーンによる女性の教育・就労への制限を受けて諸外国・機関による働きかけが活発化

★UAE（アラブ首長国連邦）

- ・令和 4 年 5 月 16 日 ハリーファ大統領・アブダビ首長の薨去、ムハンマド・アブダビ皇太子による継承
- ・令和 4 年 8 月 10 日 「一つの中国」原則への支持表明と米国へのけん制
- ・令和 5 年 3 月 31 日 1 年近い空位を経てアブダビ皇太子が任命

★アルジェリア

- ・令和 4 年 4 月 13 日 ロシア依存軽減のため、イタリアへのガス追加輸出に合意
- ・令和 4 年 9 月 5 日 マクロン仏大統領の訪問、二国間関係の強化へ
- ・令和 4 年 9 月 7 日 ロシアでの軍事演習に参加

★イエメン

- ・令和 4 年 4 月 4 日 2 カ月間の停戦合意報道も和平ムード醸成の機運は見られず
- ・令和 4 年 6 月 3 日 国連による 2 カ月間の停戦延長発表をフーシー派が評価
- ・令和 4 年 10 月 4 日 停戦期限が終了、フーシー派が越境攻撃の可能性をほのめかす

★イスラエル

- ・令和 4 年 11 月 4 日 第 25 回国会（クネセト）選挙の結果
- ・令和 5 年 1 月 11 日 ネタニヤフ内閣の成立
- ・令和 5 年 1 月 20 日 司法改革をめぐりネタニヤフ政権と野党・法曹界・学生が対立

★イラク

- ・令和 4 年 5 月 27 日 イスラエルとのあらゆる関係構築を禁じる法案が可決

- ・令和 4 年 8 月 30 日 ムクタダー・サドル師の政界引退表明とその余波
- ・令和 4 年 11 月 1 日 スーダーニー内閣の発足

★イラン

- ・令和 4 年 7 月 12 日 ロシアとの金融・銀行、運輸、エネルギー等の分野での関係強化に向けた動き
- ・令和 4 年 9 月 21 日 ヒジャーブ着用取締りによる女性の死亡をめぐる各地で抗議デモが発生
- ・令和 5 年 3 月 13 日 イラン・サウジアラビア：中国の仲介で外交関係が正常化

★エジプト

- ・令和 4 年 7 月 26 日 ロシアがエジプトへの穀物輸出を確約
- ・令和 4 年 10 月 11 日 エジプト・ギリシャ：トルコとリビアのエネルギー開発合意を批判
- ・令和 4 年 11 月 21 日 COP27 閉幕、「シャルム・シェイフ実行計画」の採択

★オマーン

- ・令和 4 年 5 月 24 日 イランとのガス田開発に向けた首脳会談

★カタール

- ・令和 4 年 5 月 23 日 タミーム首長の欧州歴訪、ウクライナ情勢等を受けた LNG 輸出の促進
- ・令和 4 年 9 月 27 日 ユースフ・カラダーウィー氏の死去
- ・令和 4 年 11 月 22 日 中東初開催となる W 杯の開幕とその意味

★クウェイト

- ・令和 4 年 8 月 10 日 アフマド・ナウワーフ新内閣の発足
- ・令和 4 年 8 月 19 日 2016 年以来となる駐イラン大使の任命
- ・令和 4 年 10 月 18 日 第二次アフマド・ナウワーフ内閣の発足

★サウジアラビア

- ・令和4年7月19日 バイデン米大統領のサウジ訪問
- ・令和4年9月28日 ムハンマド皇太子が首相に就任
- ・令和5年3月14日 サウジアラビア：イランとの国交回復決定に至った背景及びその影響

★シリア

- ・令和4年5月13日 シリア・イラン：アサド大統領によるイラン訪問の含意
- ・令和4年11月25日 トルコ軍がシリア北部を攻撃、その考えられうる影響
- ・令和5年3月1日 地震による諸外国のシリア関与と域内情勢への影響

★チュニジア

- ・令和4年7月27日 新憲法の承認、大統領権限の拡大へ
- ・令和4年10月17日 IMFとの新規融資で事務レベル合意
- ・令和5年3月20日 新議会の発足

★トルコ

- ・令和4年7月25日 黒海からの穀物輸出でロシア・ウクライナが「歴史的」合意
- ・令和4年11月15日 イスタンブール繁華街での爆発で多数の死傷者
- ・令和5年2月22日 南部で相次ぐ大地震の発生

★バハレーン

- ・令和4年6月16日 最大規模の内閣改造を発表
- ・令和4年9月20日 アブラハム合意二周年を迎えた動向
- ・令和4年11月4日 ローマ教皇による初のバハレーン訪問

★パレスチナ

- ・令和4年7月19日 バイデン大統領のパレスチナ訪問
- ・令和4年10月14日 パレスチナ和解合意文書「アルジェ宣言」の署名
- ・令和4年10月25日 西岸地区で増加する暴力、新たな武装組織の活動

★モロッコ

- ・令和4年7月1日 スペインからガス輸入の開始
- ・令和4年12月22日 フランスによる査証発給制限の撤廃
- ・令和5年2月6日 サンチェス西首相のモロッコ訪問、友好関係の維持へ

★ヨルダン

- ・令和4年4月5日 ハムザ王子が王子の称号の放棄を発表
- ・令和4年5月23日 ハムザ王子の連絡、居住地、移動を制限する王宮令の発出
- ・令和4年6月23日 ムハンマド皇太子のエジプト・ヨルダン・トルコ歴訪

★リビア

- ・令和4年7月22日 石油施設の封鎖解除、輸出の再開
- ・令和4年9月5日 トリポリでの大規模な武力衝突
- ・令和4年10月4日 エネルギー協力に係る覚書

★レバノン

- ・令和4年4月11日 IMFと融資で事務レベル合意
- ・令和4年9月29日 公定レートを1ドル＝15,000ポンドに切り下げる予定
- ・令和4年11月1日 アウン大統領の任期満了と大統領位の空席

★イスラーム過激派モニター

- ・令和4年6月 令和4年2号 モザンビークにおける「イスラーム国」の伸張
- ・令和4年8月 令和4年6号 米国がアイマン・ザワーヒリーを殺害
- ・令和5年1月 令和4年21号 ペシャーワル市のモスク爆破事件とパキスタン・ターリバーン運動の反応

・(全タイトルは23～24頁参照)

ウ 「中東・北アフリカ年鑑」

利用効率を高めるため平成24年度から『別冊・中東研究データ編』と合併させ『別冊・中東研究：中東各国動向』として発刊している。この刊行形態を継続する。

ア 中東情勢講演会等

中東地域の認識の深化や基本的知識を広めることを目的に、令和4年度は13回開催した。案内は、会員のみならず中東に関心を持つ一般の登録者に電子メールで案内するほか、中東調査会のホームページでも広く参加者を募っている。

令和4年度の電子メールによる案内先は、法人会員1,469人、個人会員216人、当調査会が開催する講演会に関する情報提供を希望された非会員（友の会会員）1,514人。

令和4年度の参加申込者総数（アとイを含む）は733人（46人/回）、うち非会員の申込者は52人（3人/回）。各回の参加者における会員・非会員の割合は下記表を参照のこと。

1. 令和4年4月22日（ウェビナー）
講師：遠藤 彰 シリア臨時代理大使
演題：「12年目に突入したシリア危機と最近の情勢」
2. 令和4年6月10日（ウェビナー）
講師：青木 健太 中東調査会研究員
演題：「ターリバーン暫定政権の対外政策とアフガニスタン・中国関係」
3. 令和4年9月26日（ウェビナー）
講師：青山 弘之 東京外国語大学教授
演題：「ロシアのウクライナ侵攻がもたらすシリア内戦の均衡変化：クルド民族主義組織PYDの処遇を中心に」
4. 令和4年10月6日（ウェビナー）
講師：森野 泰成 駐クウェート大使
演題：「湾岸の友好国クウェートについて」
5. 令和4年10月21日（ウェビナー）
講師：今井 宏平 アジア経済研究所研究員
演題：「トルコの西洋化の現在地」
6. 令和4年11月11日（ウェビナー）
講師：高橋 克彦 駐マレーシア大使
演題：「東南アジアにおけるイスラーム（マレーシアでの経験を中心に）」
7. 令和4年11月18日（ウェビナー）
講師：水嶋 光一 駐イスラエル大使
演題：「イスラエルの現状と今後の展望」
8. 令和4年12月12日（ウェビナー）
講師：溝渕 正季 広島大学大学院准教授
演題：「協調か競争か——中東地域秩序をめぐる米中間の角逐」
9. 令和5年1月19日（ウェビナー）
講師：相川 一俊 駐イラン大使
演題：「イランの現状と今後の展望」

10. 令和5年1月30日（ウェビナー）
講師：池田 明史 東洋英和女学院学事顧問
演題：「ウクライナ戦争と中東」
11. 令和5年2月8日（ウェビナー）
講師：長谷 直哉 ロシアNIS貿易会モスクワ事務所長
演題：「制裁下ロシアによる中東諸国へのアプローチ」
12. 令和5年2月28日（ウェビナー）
講師：岩井 文男 駐サウジアラビア大使
演題：「変貌し続けるサウジアラビア」
13. 令和5年3月13日 於）帝国ホテル
講師：アイマン・サファディ ヨルダン 副首相兼外務・移民大臣
演題「Foreign Policy in Jordan: Overview (ヨルダン：外交政策の概要)」

イ 中東連続講演会

研究員発表会及び各国の駐日大使によるシリーズ講演会を、令和4年度は6回開催し、会員及び非会員に幅広く案内を行った。なお、「駐日大使によるシリーズ講演会」は書面インタビューのため参加者人数に含めない。

1. 令和4年5月20日（書面インタビュー）
駐日中東大使に聞く
第10回 アブドゥル・カリーム・カアブ・イラク大使
2. 令和5年1月19日（書面インタビュー）
駐日中東大使に聞く
第11回 アハメッド・ムハammad・ユースフ・アルドーセリ バーレーン大使
3. 令和5年2月6日（書面インタビュー）
駐日中東大使に聞く
第12回 コルクット・ギュンゲン トルコ大使
4. 中東情勢分析発表会 1
令和4年7月20日（ウェビナー）
演題：「フランスの中東政策——湾岸諸国との関係強化の狙い——」（研究員 高橋 雅英）
「トルコとNATOの新展開」（事務局長・研究員 金子 真夕）
5. 中東情勢分析発表会 2
令和4年12月6日（ウェビナー）
演題：「サウジアラビア内外政：ウー宣言を経た地域外交の展開と「有終の美」を見据えるビジョン2030」（研究員 高尾 賢一郎）
「イラン抗議デモの背景と展望：ライシー政権が直面する試練と大きな変化を見せるイラン社会」（研究員 青木 健太）
6. 中東情勢分析発表会 3
令和5年3月24日（ウェビナー）
演題：「地震後のシリアをめぐる地域情勢：シリア支援外交とイラン・イスラエル関係に注目して」（上席研究員 金谷 美紗）

ウ 中東を知るセミナー

COVID-19 感染拡大を背景に、会員にとっては出入国規制等にかかわる流動的な現地情報の需要が極めて高かったため、各国・地域の基礎的な情報や経年的な動向分析に主眼を置いた本セミナーは実施せず、代わりに COVID-19 感染拡大状況を含めた直近の情報提供を中心とする現地大使の講演会実施を優先した。

表：中東情勢講演会、中東連続講演会、中東を知るセミナー参加者数

項目	日付	講演者	会員	非会員	合計	非会員割合	
ア	1	令和4年4月22日	遠藤 彰	42	3	45	7%
	2	令和4年6月10日	青木 健太	37	8	45	18%
	3	令和4年9月26日	青山 弘之	30	5	35	14%
	4	令和4年10月6日	森野 泰成	25	3	28	11%
	5	令和4年10月21日	今井 宏平	35	5	40	13%
	6	令和4年11月11日	高橋 克彦	24	4	28	14%
	7	令和4年11月18日	水嶋 光一	33	2	35	6%
	8	令和4年12月12日	溝渕 正季	23	3	26	12%
	9	令和5年1月19日	相川 一俊	59	0	59	0%
	10	令和5年1月30日	池田 明史	39	3	42	7%
	11	令和5年2月8日	長谷 直哉	29	3	32	9%
	12	令和5年2月28日	岩井 文男	54	5	59	8%
	13	令和5年3月13日	アイマン・サファディ	21	0	21	0%
イ	1	令和4年7月20日	中東情勢分析発表会 1	75	4	79	5%
	2	令和4年12月6日	中東情勢分析発表会 2	92	1	93	1%
	3	令和5年3月24日	中東情勢分析発表会 3	63	3	66	5%
		令和4年度合計	681	52	733	7%	
		(参考) 令和3年度合計	967	141	1018	13%	

エ 中東大使を囲む会（意見交換会）

中東に在勤する日本大使が東京で一同に会する機会をとらえて開催しているレセプション形式の会合。法人・個人会員、非会員法人の方々と大使との間の意見交換の場を提供している。

令和4年度は外務省の中東大使会議がオンラインでの開催となったため、その代替りとして「中東調査会設立60周年記念」を兼ねた「駐日中東大使との新年懇親会」を開催した。岸田総理大臣、林外務大臣にもご臨席いただき、それぞれご祝辞をいただいた。法人・個人会員に加え、中東に関連のある非会員の一般法人の役員550人に案内を送付した。参加申込者は208人、うち非会員43人（約20.6%）。

日時：令和5年2月1日18:00～19:30

場所：ザ・プリンス パークタワー東京ボールルームA B

参加大使（国名50音順）

国・地域名	大使
アフガニスタン・イスラム共和国大使館	H.E. Dr. Shaida Mohammad ABDALI
アラブ首長国連邦大使館	H.E. Mr. Shihab Ahmed ALFAHEEM
アルジェリア民主人民共和国大使館	Mr. Sofiane HAMROUCHE/Chargé d'affaires
イエメン共和国大使館	H.E. Mr. Adel Ali Ahmed ALSUNAINI
イスラエル国大使館	Mr. Israel Strulov /Charge d'Affaires ad interim
イラク共和国大使館	Dr. Dhibian HASAN / Counsellr
イラン・イスラーム共和国大使館	Mr. Mohammad Reza LOGHMANI /Charge d'Affaires ad interim
エジプト・アラブ共和国大使館	H.E. Mr. Mohamed ABUBAKR Saleh Fattah
オマーン国大使館	H.E. Dr. Mohamed Said Khalifa AL BUSAIDI
カタール国大使館	H.E. Mr. Hassan Bin Mohammed Rafei AL-EMADI
クウェイト国大使館	Mr. Khaled ALZEER /Chargé d'affaires
サウジアラビア王国大使館	Mr.Hilal Alharbi/Chargé d'affaires
スーダン共和国大使館	Mr. Ali Mohamed Ahmed Osman/Charge d'Affaires ad interim
チュニジア共和国大使館	H.E. Mr. Mohamed ELLOUMI
トルコ共和国大使館	H.E.Mr.Korkut GÜNGEN
バハレーン王国大使館	Ms. Nawal Aljasim/Chargé d'affaires
パレスチナ常駐総代表部	Mr. Hisham Nassar/First Counsellr

モロッコ王国大使館	H.E. Mr. Mohammed Rachad BOUHLAL
ヨルダン・ハシエミット王国大使館	H.E. Ms. Lina ANNAB
リビア大使館	Ms. Hanan A. O. ALJUROUSHI/ Minister Plenipotentiary
レバノン共和国大使館	H.E. Mr. Nidal YEHYA

オ 中東調査会ホームページ

ホームページ (<https://www.meij.or.jp/>) を開設しており、会員のみならず一般にも広く中東関連情報を提供している。令和4年度の年間アクセス数は30万3,501回。

ア トップミーティング（朝食会等）

法人会員の最高幹部レベルならびに特別個人会員を対象とした会合で、国際情勢等に関して外務省幹部他、政府関係者・民間有識者による講演に加え意見交換を行う。

1. 令和4年4月20日 於)ホテルオークラ
講師：金 容吉 駐日本国大韓民国大使館 政務公使
演題：「日韓関係の現状と展望」
2. 令和4年5月11日 於)ホテルオークラ
講師：久保 文明 防衛大学校 校長
演題：「バイデン政権下の内外政と日米関係」
3. 令和4年5月31日 於)帝国ホテル
講師：滝崎 成樹 内閣官房副長官補・国家安全保障局次長
演題：「岸田内閣の国家安全保障戦略について」
4. 令和4年6月15日 於)ホテルオークラ
講師：セルギー・コルスンスキー 駐日ウクライナ特命全権大使
演題：「ロシアによるウクライナ侵略の地政学と経済」
5. 令和4年6月28日 於)ホテルオークラ
講師：後藤 謙次 ジャーナリスト、共同通信客員論説委員
演題：「参院選の情勢と岸田政権の行方」
6. 令和4年7月12日 於)帝国ホテル
講師：徳田 修一 外務省 欧州局審議官
演題：「最近のNATO情勢と日NATO関係について」
7. 令和4年7月27日 於)ホテルオークラ
講師：鈴木 浩 外務審議官（経済）
演題：「世界経済の展望-G7エルマウ・サミットを終えて」
8. 令和4年9月13日 於)帝国ホテル
講師：宮本 雄二 元駐中華人民共和国大使
演題：「党大会を迎える中国と日本の覚悟」
9. 令和4年9月27日 於)ホテルオークラ
講師：松永 泰行 東京外国語大学大学院教授
演題：「イランの今後—対外関係の方向性と内政・経済動向—と地域情勢」
10. 令和4年10月25日 於)ホテルオークラ
講師：リーナ・アンナーブ 駐日ヨルダン特命全権大使
演題：「ヨルダンの地政学的回復力」
11. 令和4年11月14日 於)帝国ホテル
講師：新居 雄介 外務省 国際情報統括官
演題：「国際情勢分析のポイント」

12. 令和4年11月30日 於)ホテルオークラ
講師：高原 明生 東京大学大学院教授
演題：「中国共産党第20回全国代表大会の開催と今後の中国」
13. 令和4年11月30日 於)帝国ホテル
講師：中込 正志 外務省 欧州局長
演題：「ロシアによるウクライナ侵略：これまでとこれから」
14. 令和4年12月7日 於)ホテルオークラ
講師：木内 登英 野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト
演題：「2023年の日本経済の展望」
15. 令和4年1月26日 於)帝国ホテル
講師：河邊 賢裕 外務省 北米局長
演題：「今後のアメリカの内政外交の展望」
16. 令和4年1月27日 於)ホテルオークラ
講師：森 健良 外務事務次官
演題：「2023年の日本外交の展望」
17. 令和4年2月24日 於)ホテルオークラ
講師：倉井 高志 前駐ウクライナ大使
演題：「ウクライナ情勢とわが国にとっての意味」
18. 令和4年3月15日 於)ホテルオークラ
講師：國分 良成 前防衛大学校長
演題：「3期目に入った習近平政権の直面する課題」
19. 令和4年3月29日 於)帝国ホテル
講師：有馬 裕 外務省 アジア大洋州局南部アジア部長
演題：「最近のインド情勢と日印関係」

イ 「中東トピックス」、「中東分析レポート」等

平成19年11月に創刊された賛助会員（法人）幹部役員及び特別個人会員に郵送配布している。発行の約1週間後に当会ホームページの法人・個人会員限定ページにも掲載している。

発行概要（令和4年4月1日－令和5年3月31日）

1. 「中東トピックス」

各月の重要事項を中東調査会研究員が分析・評価したレポート。毎月月初に郵送配布。

令和4年4月

- ・トルコ：米国国務省、トルコへのF-16売却に関する書簡を議会に提出
- ・イエメン：大統領指導評議会の設立、概要と背景
- ・イスラエル・パレスチナ：エルサレムを中心に暴力再燃
- ・イラン：中国の魏鳳和国防部長がイランを訪問
- ・アルジェリア：スペイン向けガス供給の停止を示唆

- ・アフガニスタン：「イスラーム国」がウズベキスタン領内への攻撃を主張

令和4年5月

- ・トルコ：フィンランド、スウェーデンとの3カ国協議実施
- ・シリア：ロシア軍部隊の一部が撤退開始か
- ・イラン：革命防衛隊がギリシャ船籍の石油タンカー

を拿捕

- ・イラク：サドル派によるイスラエルとの断交の徹底措置
- ・カタール：アル=ジャジーラ記者殺害への注目を呼びかける
- ・アルジェリア：大統領のイタリア訪問、エネルギー協力の促進
- ・アフガニスタン：反ターリバーン勢力がトルコで集会を開催
- ・レバノン：国民議会選挙の実施
- ・イスラエル・パレスチナ：イスラエル軍とガザ地区武装勢力が戦闘

令和4年6月

- ・サウジアラビア：バイデン米大統領のサウジ訪問をめぐる思惑
- ・エジプト：湾岸アラブ諸国との活発な首脳外交
- ・トルコ：チャウシュオール外相とロシアのラヴロフ外相との二カ国協議実施
- ・イスラエル：国会解散、11月1日に総選挙
- ・イラク：サドル派議員の一斉辞職
- ・イラン：中央アジア諸国との経済関係を強化
- ・アフガニスタン：インドがターリバーンとの関与を再開
- ・モロッコ：ナイジェリアとのガスパイプライン建設構想の進展

令和4年7月

- ・イスラエル：米国との対イラン結束強化、注目される次期参謀総長の任命
- ・イラン：バイデン米大統領による中東訪問への反応
- ・トルコ：イラク北部への攻撃事件でイラクとの関係悪化
- ・イラク：雲散霧消に向かう政治プロセス
- ・サウジアラビア：ムハンマド皇太子のギリシャ訪問
- ・アフガニスタン：ウズベキスタンが国際会合を主催
- ・リビア：石油輸出の再開、産油量の回復

令和4年8月

- ・イスラエル：JCPOA 再合意阻止に向けた外交・軍事行動の活発化
- ・イラン：サルマーン・ラシュディ襲撃事件へのイランの反応
- ・クウェイト・UAE：駐イラン大使の復帰
- ・サウジアラビア：エジプト・ギリシャとの2030年W杯共催立候補案についての報道
- ・モロッコ・チュニジア：西サハラ問題をめぐり関係悪化
- ・トルコ：パレスチナのアッバース大統領がトルコを公式訪問
- ・アフガニスタン：政権崩壊から1年

令和4年9月

- ・トルコ：上海協力機構首脳会議にエルドアン大統領が初参加
- ・サウジアラビア：ロシアの捕虜解放を仲介
- ・カタール：エジプトとの関係改善に向けた前進
- ・イスラエル：11月総選挙に向けて各党が候補者名簿を提出
- ・イラン：ハーメネイー最高指導者の健康不安説とその含意
- ・レバノン：11月1日に公定レートを1ドル=15,000ポンドに切り下げ
- ・アフガニスタン：ターリバーンとロシアが燃料・食料取引に暫定合意
- ・リビア：ナイジェリアとのガスパイプライン構想

令和4年10月

- ・サウジアラビア：「ロシア寄り」批判への反論
- ・イスラエル：11月1日総選挙でリクード連合が過半数議席を獲得
- ・トルコ：ガンツ・イスラエル国防相のトルコ訪問
- ・リビア：トルコとの新たなエネルギー及び軍事協力
- ・イラク：一年間の政治危機を経て新政府が発足
- ・イラン：イランが元アフガン国軍兵士を募集しロシアに派遣と報道
- ・アフガニスタン：カーブルの日本大使館が一部業務を再開

令和4年11月

- ・サウジアラビア：ムハンマド皇太子のアジア歴訪
- ・トルコ：ロシア・ウクライナが黒海穀物輸出の延長で合意
- ・イラン：ロシアへの国産ドローン供与を一部認める
- ・エジプト：トルコと二度目の関係改善の兆しか
- ・アルジェリア：2023年の国防予算が前年比で倍増
- ・アフガニスタン：ターリバーンがムッラー・ウマルの墓を公開

令和4年12月

- ・イスラエル：最も右寄りなネタニヤフ政権の成立
- ・カタール：中東初開催のサッカー・ワールドカップが閉幕
- ・アフガニスタン：ターリバーンが女性の教育・就労を大幅に制限
- ・イラン：抗議デモ参加者の死刑執行
- ・トルコ：パリ中心部でのクルド人銃撃事件に対するトルコの反応
- ・アルジェリア：タブーン大統領が「ワグネル」のマリ展開に立場表明

令和5年1月

- ・トルコ：エルドアン大統領が議会・大統領選の前倒

し実施を表明

- ・イスラエル：ネタニヤフ政権が発足直後から問題に直面
- ・イラン：在イラン・アゼルバイジャン大使館への襲撃事件が発生
- ・イラク：空軍強化を見据えたフランス訪問
- ・アフガニスタン：ターリバーンが中国企業と油田採掘に向け大規模契約
- ・リビア：アメリカが「ワグネル」を国際犯罪組織に認定

令和5年2月

- ・GCC：シリアとの関係回復に向けた動きが活発化
- ・シリア：地震が明らかにした内戦構造、地震で動き始めたシリア孤立解消外交
- ・トルコ：南部で相次ぐ大地震の発生と政府の対応
- ・UAE：Abrahamic Family Houseの完成とその含意
- ・イラン：在イラン・アフガニスタン大使館がターリ

バーンに引き渡し

- ・アフガニスタン：ターリバーン内部に不和の兆候
- ・チュニジア：反大統領派への締め付け強化、逮捕相次ぐ
- ・イスラエル：ウクライナ情勢への反応

令和5年3月

- ・サウジアラビア：イランとの国交回復に向けた動きとその影響
- ・トルコ：議会在フィンランドのNATO加盟を批准
- ・イスラエル：内政の大混乱の末、司法改革案の審議停止を発表
- ・カタール：首相及び内相の交代
- ・イラン：新年のスローガンを「インフレの抑制と生産の成長」と発表
- ・アフガニスタン：モッタキー外相代行が諸外国との関係拡大を要望
- ・モロッコ：IMFに50億ドル相当の新規融資を要請

2. 「中東分析レポート」(令和4年度発行総数は15号)

中東の特定の問題に関し、外部執筆者または中東調査会研究員が詳細に分析したレポート。随時郵送配布。

- | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------|
| 令和4年4月13日 | アブラハム合意後のアラブ諸国・イスラエル関係と湾岸ユダヤ協会 (AGJC)
研究員 高尾 賢一郎 |
| 令和4年5月18日 | GCC・トルコ関係——「アラブの春」以降の対立の清算と展望——
研究員 高尾 賢一郎 |
| 令和4年6月8日 | イランの「ルック・イースト」政策から見る外交方針
研究員 青木 健太 |
| 令和4年6月22日 | 民間軍事会社「ワグネル」の中東・アフリカ進出
——地中海からアフリカに広がるロシアの影響力——
研究員 高橋 雅英 |
| 令和4年7月5日 | カタールの対サブサハラ・アフリカ外交
——サウジ・UAEとの競合と共存——
研究員 高尾 賢一郎 |
| 令和4年7月15日 | カーブル陥落から1年を迎えるアフガニスタン情勢
研究員 青木 健太 |
| 令和4年8月5日 | ウクライナ戦争の中東地域への影響
上席研究員 金谷 美紗 |
| 令和4年8月31日 | 中東諸国の地域外交におけるギリシャのプレゼンス
——トルコ包囲のその先——
研究員 高尾 賢一郎 |

- 令和4年10月28日 イラン・ライシー政権のゆくえ
—保守強硬派の台頭とその帰結—
研究員 青木 健太
- 令和4年11月11日 ウクライナ危機と北アフリカからのエネルギー供給の可能性
——西サハラ問題とリビア紛争の影響——
研究員 高橋 雅英
- 令和4年11月18日 国際イベント招致に見る内外のポリティクス
——「有終の美」を見据えるサウジ・ビジョン 2030——
研究員 高尾 賢一郎
- 令和5年1月23日 2022 年中東情勢の回顧と展望
中東調査会
- 令和5年3月17日 ペルシャ湾岸諸国と中国の接近
——その背景、意図、展望——
中東調査会
- 令和5年3月29日 ターリバーン暫定政権の対外関係
——「事実上の承認」とその具体的な様態——
主任研究員 青木 健太
- 令和5年3月29日 地震後シリアをめぐる地域情勢
——シリア支援外交とイスラエル・イラン関係に注目して——
上席研究員 金谷 美紗

3. 「イスラーム過激派モニター」（令和4年度発行部数は22号）

平成30年度より発信形態を「かわら版」から会員専用の「イスラーム過激派モニター」に変更。

- 令和4年5月11日 ヒジュラ暦 1443 年のラマダーン月と「イスラーム国」
- 令和4年6月8日 モザンビークにおける「イスラーム国」の伸張
- 令和4年6月10日 アフガニスタン制圧後のターリバーンとアル=カーイダの関係
- 令和4年7月15日 ソマリアにおけるシャバーブの伸張
- 令和4年7月25日 JNIM がマリ首都郊外の軍基地を攻撃、ワグネルをめぐる過激派動向
- 令和4年8月2日 米国がアイマン・ザワーヒリーを殺害—アル=カーイダ勢力への影響—
- 令和4年8月3日 ナイジェリア首都周辺におけるイスラーム国・西アフリカ州の活動
- 令和4年8月8日 イラク・シーア派民兵によるトルコ軍への攻撃
- 令和4年8月19日 ターリバーン復権後の「イスラーム国」ホラーサーン州
- 令和4年8月24日 フランスのマリ撤退とワグネル主導の過激派掃討作戦の行方

- 令和 4 年 9 月 6 日 カブルのロシア大使館攻撃についてイスラーム国ホラーサーン州が
犯行声明を発出
- 令和 4 年 9 月 12 日 「イスラーム国・モザンビーク州」がナンブーラ州での攻撃を活発化
- 令和 4 年 10 月 27 日 「イスラーム国」イランがシーラーズでの攻撃を主張
- 令和 4 年 11 月 21 日 アラビア半島のアル=カーイダがカタルでの W 杯開催を非難する声明
を発出
- 令和 4 年 11 月 25 日 フランスの「バルカン」作戦終了とサヘル地域の過激派動向
- 令和 4 年 12 月 1 日 「イスラーム国」がカリフの死亡と新カリフを発表
- 令和 4 年 12 月 9 日 「イスラーム国」新カリフに対する各支部の忠誠表明と近況
- 令和 4 年 12 月 13 日 「イスラーム国」がアフガニスタンの中国人行きつけホテルで自爆攻撃
- 令和 4 年 12 月 21 日 「イスラーム国」新カリフへの遅れての忠誠表明
- 令和 5 年 1 月 11 日 アラビア半島のアル=カーイダはどこで何をしているのか
- 令和 5 年 1 月 31 日 ペシャーワル市のモスク爆破事件とパキスタン・ターリバーン運動の反応
- 令和 5 年 3 月 30 日 ブルキナファソにおける「イスラーム国・サヘル州」の伸長と
サヘル地域情勢

4. 「中東調査会月間活動誌」

中東調査会の活動を報告する広報誌。中東に関係する外務省人事及び要人往来も紹介。毎月月初に郵送配布。

ウ 「Daily News」の配信

中東の日誌データを、毎月ごとの国別に整理して電子メールにて法人会員に提供している。令和 4 年度は各国別に月 1 回発信。

エ リビア入国ビザ取得支援

リビアへのビザ申請には、アラビア語使用等特殊な要求がなされ、これを支援してきた経緯があるが、現在リビアは全土に「退避を勧告します。渡航は延期してください。」との外務省海外安全情報が出されている。従って、当調査会としてもビザ取得を支援しうる環境ではなく、海外安全情報に変更されていない為、平成 23 年度以降は実施していない。